

令和 02 年度 事務事業評価書

新継区分	継続	事務事業名称	001 観光協会支援事業				
担当部	110000 企画開発部		課・室	111001 観光・スポーツ振興	所属長名	新垣行則	

(1) 基本情報

基本目標	006 働きのつながるまち(産業)		施策	005 観光の振興	
事務事業期間	平成30年度～令和02年度		会計種別	01 一般会計	
経費の性質	5 政策的経費		実施計画対象	1:対象	
事業概要	実施方法	補助金・負担金		実施根拠 (法令や条例等)	
	目的	本市における観光資源の開発、調査研究及び観光客の誘客事業等を行うことにより、観光振興を図り地域経済の発展、福祉の向上及び公益の増進に資することを目的とする。			
	対象	○糸満市観光協会、観光客、事業者			
	活動内容	○本市からの委託事業の受託、市内観光関連企業との各種調整、観光メニュー開発、その他観光振興に関すること。			
	意図(成果)	○本市の観光振興の牽引役である糸満市観光協会の体制強化により、誘客や来市者の利便性を高めることにより、情報発信力の強化や利用者の利便性向上を図る。			

(2) コスト及び成果

		単位	H31年度決算	R02年度予算	R03年度予算	R04年度予算	R05年度予算
事業費		千円	7,929	5,000	8,873	7,900	7,900
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	7,929	5,000	8,873	7,900	7,900

この事務事業の業務量を数値化したもの・・・活動指標			この事務事業の成果を数値化したもの・・・成果指標		
活動指標名	単位	左記の活動指標とした理由	成果指標名	単位	左記の成果指標とした理由
観光案内	日	観光案内窓口の業務日数	Web閲覧	日	観光協会が発信するWeb閲覧数
観光メニュー開発	件	毎年1件の新規観光メニュー開発	事業受け入れ	件	海の運動会、帆掛け船などオリジナル体験受入数
			会員数	社	観光協会の正会員、賛助会員数

活動指標	指標名	単位	区分	H31年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度
観光案内		日	計画値	365	365	365	365	365
			実績値	365	365	0	0	0
観光メニュー開発		件	計画値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	0	0	0
			計画値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	0

成果指標	指標名	単位	区分	H31年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度
Web閲覧		日	計画値	13,000	15,000	17,000	20,000	21,000
			実績値	12,500	13,000	0	0	0
事業受け入れ		件	計画値	12	12	12	12	12
			実績値	10	11	0	0	0
会員数		社	計画値	130	131	135	140	145
			実績値	130	131	0	0	0

妥 当 性	①事務事業を実施する妥当性	● 目的は明確で上位の施策に結びついている ○ 目的は上位の施策に結びついていない ○ 内部管理経費のため、上位の施策に結びつかない 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 ○観光資源の保全と活用、滞在型観光の推進、南部地域の連携による観光振興を位置づけている。
	②行政が関与する妥当性	○ 法令及び条例によりサービスが義務付けられている ○ 国、県、市の協調によるもの ● 民間ではできない、または民間では実施していない ○ 民間に同様・類似のサービスがあるが、質や量等が不十分なため、補完するもの ○ 民間に同様・類似のサービスが存在する 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 ○民間だけでは、地域関連企業全体を包含し振興するのは厳しいため行政の関与が必要。

必 要 性	③市民ニーズ	● 市民のニーズの有無に関わらず実施する必要がある ○ 市民ニーズが増加傾向にある ○ 市民ニーズが現状維持の傾向にある ○ 市民ニーズが減少傾向にある ○ 市民ニーズを把握していない 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 ○観光協会が担当している業務に関して市民には十分に浸透しきれていないことから、事業の拡充を図ることにより認知度を高める取組みが必要である。
	④現時点での優先性や緊急性	● 緊急事態への対応、最重要施策など最優先して実施する必要がある ○ 日常的な安全、生活を確保するために実施する必要がある ○ 公共サービスの平均的水準を確保するために実施する必要がある ○ 現時点での優先性や緊急性は低いものの、市の将来のために実施した方がよい ○ 現時点では必ずしも実施しなくてもよい 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 ○市の観光振興の重要な位置づけとなっているため人材の確保、財源確保をサポートし体制を強化する必要がある。

公 平 性	⑤受益者負担は適切か	○ 広く市民を対象としていることから適切である ● 事務事業の対象が特定されているが、受益者には応分の負担があり適切である ○ 事務事業の対象が特定されているが、受益者には応分の負担となっていないため、見直しの余地がある ○ 受益と負担の適正化を求める事業ではない（社会福祉等を目的とする事業など） ○ 公平性の評価になじまない（内部管理業務など） 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 ○地域経済の発展、福祉の向上及び公益の増進に資する一般社団法人であり、個人の利益追求だけではない団体であり事業主体として公共性をもって実施している。
-------------	------------	---

効 率 性	⑥事業の成果を低下させずにコスト削減を図っているか否か	○ かなり削減できている ○ ある程度削減できている ○ あまり削減できない ● 削減できない ● 効率性の評価になじまない 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 ○観光振興に係る事業を実施しており、人材・資金不足の状況で事業を実施しているため効率性の評価にはなじまない。
-------------	-----------------------------	---

有 効 性	⑦成果指標の目標値(予測値)に対する達成度	● 目標を上回る ○ 目標を概ね達成している ○ 目標をやや下回る ○ 目標を下回る ○ 成果指標を設定していない 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 ○観光協会においても人員不足の状況が続いている。また、資金面においても不足しており観光振興発展のためには同協会に対する補助金増額が必要。
-------------	-----------------------	--

(4) 評価の総括

所属長所見 1. 妥当性 ● 適切 ○ 見直す余地あり 2. 必要性 ● 適切 ○ 見直す余地あり 3. 公平性 ● 適切 ○ 見直す余地あり 4. 効率性 ● 適切 ○ 見直す余地あり 5. 有効性 ● 適切 ○ 見直す余地あり	総合評価 ・全て適切でA評価 A 現状どおり事業を進めることが妥当 ・適切3～4でB評価 B 事業内容や事業手法に改善を行う余地あり ・適切1～2でC評価 C 事業縮小または内容や手法に大幅な見直しが必要 ・全て見直してD評価 D 事業の廃止や休止など、事業のあり方について検討する必要あり A
所属長所見 ■ 拡大・充実 □ 現状維持 □ 改善 □ 民間委託 □ 統合 □ 縮小 □ 休止 □ 廃止 □ 完了	改革改善案（総合評価でA評価の場合は記載不要）